

川俣高校における読書推進への取り組み

1 学校の概要

(1) 所在地

〒960-1401 福島県伊達郡川俣町飯坂字諏訪山1番地

(2) 学級数・生徒数

3クラス53名(令和6年度5月1日現在)

(3) 学校図書館の蔵書数

25569冊(令和6年度5月1日現在)

2 取り組み内容

(1) 各種コーナーの設置

継続した取り組みとして、1~2か月ごとにテーマを変え、その内容に沿った図書を集め展示する「テーマ展示」、前月購入分までの図書を表紙が見えるように並べ、視覚的に興味を持ちやすいようにしている「新刊」、進学・就職のために必要な小論文対策・時事・職業適性といった情報を扱う図書を集めた「進路」、川俣町関連の図書や東日本大震災関連の図書を集めた「地域・震災」の各コーナーを設置している。

(2) 古本市の開催

生徒が図書に親しむきっかけを作ることを目的として、生徒・教職員から不要になった図書や雑誌を募集し、放課後の生徒昇降口で販売する古本市を実施した。

今回は試験的なイベントのため1冊に対して最低金額を設定し、机に並べて販売するという簡易な形で行ったが、購入しなくても足を止め並んでいる図書を眺めている姿が多く見られた。売れ残った図書については保管し、次年度開催の公開文化祭で価格設定や販売対応といった形で生徒の関りを増やしながら再度実施することを計画している。

(3) 情報発信

隔月発行の図書館だよりによる館内イベントや新刊の案内、掲示板を利用した学外イベントの紹介やポスターの設置などを行っている。

また学校づくりや生徒の対応の参考にするための図書を職員室に、体調のことを調べることや気分を落ち着かせることを目的とした図書を保健室にまとめて貸し出すなど、必要や要望に応じて図書館外にも図書を設置している。

(4) 図書 POP コンクールへの参加

令和 4 年から川俣町が開催している「図書 POP コンクール」に、本校の生徒も参加している。

令和 5 年度から図書委員会が廃止となったため主に選択授業の一環として参加しているが、小説以外に絵本や図鑑なども対象となっているため、普段手にとらないような図書を題材に POP を作成している生徒もあり、幅広いジャンルの図書に触れる機会となっている。

(5) 図書館内の環境整備

「必要な情報の取得や作業ができること」と「気軽に利用できること」が両立できるような図書館づくりを目指している。

書棚の更新や整理といった基本的な作業のほか、先述の各種コーナー以外にも人気作家の図書をまとめて配置するなど、コーナーの作成や小規模な展示を適宜行っている。また情報提供の一環として生徒が利用できるパソコンとプリンターを 1 台設置し、必要に応じてタブレット端末の貸し出しも行っている。

館内の雰囲気があまり堅苦しくならないように季節の飾りつけや小物の設置をしている。また図書館に足を運び、読書に親しむきっかけ作りの一環として、クリスマスやハロウィンなどの季節行事に合わせたイベントの開催や、「司書の本棚」を設置して生徒が興味を持ちそうな個人所有の図書を並べ、館内で利用できるようにしている。